



女性委員会だより

～秋田県建築士会 H25 年度活動報告～

東北ブロック女性委員会 秋田大会の成功に向けて

横手支部 松井幹子

昨年の6月総会で秋田大会が9月6日、7日の二日間の日程で、また開催場所として私の地元増田町に決まってから早いもので一年が経とうとしています。子供の頃は何もない町だと思っていましたが、今では「増田の蔵」で有名になり観光客も増え、昨年の12月には重要伝統的建造物群保存地区に選定され益々注目されるようになりました。そんな増田町で東北ブロック女性委員会が行われることは大変うれしく誇りに思う反面、地元開催というプレッシャーと責任を感じています。

準備委員会は昨年の7月から活動を開始し5回の会議を行っています。毎回エネルギーが詰まった話し合いになり、予定通りに終わったことはありません。それはプロジェクトメンバーの「この大会を成功させよう！」という熱い思いがあるからです。参加した皆さんに喜んでいただけるようにスムーズな運営を目指し準備を進めていきたいと思っています。

今回の秋田大会のテーマは「再生へ」（これから向かう先）です。このテーマにはエネルギーや建物の「再生」

や被災地では町の「再生」とその地域でいろんな捉え方ができるテーマにしました。出発地点（再生への思い）は別々でもどこかで交わりひとつに繋がる、それが今回のテーマの「再生」になるのではないかという思いからです。各地域から参加される皆さんの「思い」を感じ、みんなで一緒に考えて未来に向かっていく「再生」を共有できることはすばらしい時間になるでしょう。

本番まで残り5ヶ月となりました。準備委員会は9名で行っておりますが大会の運営には全県皆様のご協力が必要です。お忙しいとは思いますが是非たくさんの方に参加して頂いてみんなで成功させましょう！どうぞよろしくお願いいたします。



第1回学習会

今年の学習会は趣向を変えて、県北・中央・県南の各地区から日頃の学習内容を発表しました。テーマは県北「化学物質過敏症とシックハウス症候群」、中央「終の棲家について考えてみる」、県南「太陽光発電学習会の検証」でした。

女性委員会北秋支部医師会合同講演会から

北秋支部 柳谷節子

女性委員会北秋支部は発会以来地域住民に還元できる社会貢献活動を願っていましたが、地元の女性医師の協力を得てH24年秋に大館にて充実した講演会を開催できました。



その内容は ～住まいと健康～ アレルギーで悩む市民が増えている中、住まいで、また医療で、私たちにどのようなことができるのかともに考えたい・・・です。

講演の内容から化学物質過敏症外来や千葉大ケミレスタウンに環境医学診療科があること、改正建築基準法でシックハウス対策がなされてから、患者が激減したことなどは驚きの朗報で、科学的医学的な根拠で曖昧な知識を少しずつでも整理する大切さをしられました。

特別講演「科学物質過敏症とシックハウス症候群」より

講師：独立行政法人国立病院機構盛岡病院副委員長

呼吸器科アレルギー科化学物質過敏症外来担当

水城まさみ先生

コーディネーター：常盤医院 副院長 鈴木あや子先生

全国女性建築士連絡協議会に参加して

鹿角支部 石木田 まり子

平成2年に、女性建築士がそれぞれの地域で活動する中、建築業界を取り巻く様々な状況や問題点・課題点を女性の立場で女性の目線で考える事を多くの女性と共に考え議論する為に、中央・地方を交互に会場とし、企画運営するテーマのもとで、平成25年度までに23回の会を開催している。

参加する意義は参加したものにしかならないといつもそう思う。また、沢山の学びや気づきのある会でもある。勤務している建築士は、思う様に会社に参加の意向を伝えることも難しいけれど、毎年、毎年参加者が増えていることは、私と同様に参加する意義を感じている証拠である。

メインテーマ、それと6つの分科会(A~F)が現在の活動の中での絞り込んだテーマはそれぞれの人々が選択する。全体会は「参加できずにいた別の分科会」の中身の発表に触れて、自分なりの考えと照合する参考になるものです。平成25年のテーマは“景観、地域と共生する居住

環境づくり”で、人口減少を続ける日本の少子高齢化社会で建築士に求められていることを考える良いチャンス今年もいただき、又、来年の再会を皆さんと約束して、それぞれの地域でそれぞれの役割をまっとうしながらの活動を誓い合った会でした。

是非皆さんも全建女のこの会に参加してみませんか？



第2回学習会 親子体験学習「気持ちのいい家作ろう」in 北秋田 & 見学会（阿仁根子地区他）

雄勝支部 佐藤 全子



最初は恐る恐る、材料をあれこれ迷いながら、選び、遠慮しがちにカッターやハサミを使っていた子供達も、30分位過ぎる頃から、生き生きと思いきいの想像をふくらませながら夢中になって家を作っていました。

途中で、「ここにえんとつを作ってみたら？」とか、「プールはここに作ろうか？」などとアドバイスしたつもりでも、大人のアドバイスはありきたりと思ったか、違う違うと自由な発想で好きな形を作ったりする。特に男の子には、常識などつまらない、ある意味逆に夢をつぶしてしまうんじゃないかとこちらががっかりするほど、たくましい、ほほえましい風景でした。

今回は大工さん方もチームに加わっていただいて、その強い手さばきは、子供たちもすっかり頼もしく思える程のすばらしさでした。女性委員会が中心になって続けているこのワークショップも、男性会員や地元の協力者の方々等と一緒にやることによって、ふくらみを増したような気がします。

最近はどうしても与えられる教材を、覚えたり、反復練習したりする学習がどうしても主流で、自分が独創的に作ったり、アイデアを出したり、考えたり、悩んだりという作業が希薄になっているような気がします。

子供達がこのような機会に参加することにより、もっと自分独自の夢や楽しみに向かって物を作る喜びを味わうことは、幼い時期に視野も広がり、能動的に物考える習慣づけになると信じて止みません。

翌日、マタギの里・棚田などガイドさんがごていねいに案内して下さい、棚田が昔、年貢の隠し田だったことや、山の奥深くにある旧水力発電所が当時大きな動力で活躍したことなど説明して下さいました。

今回のようなワークショップがなければ、同じ県でもマタギの里を訪れる機会もなかなかなかったであろうと思えます。地元でその文化を口伝えていくことは、非常に貴重で大事なことだと思いました。北秋支部の会員さん達も準備が大変だったと思います。お世話になり、ありがとうございました。

2013 年度 第 2 回東北ブロック会 岩手県南沿岸視察

平成 25 年 9 月 7 日 (土)
由利支部 阿部功子

2013 年度の東北ブロック会は岩手県南沿岸視察でした。大船渡市へバスで向かい、市内を車中から見学しながら海岸に近づくと景色が変わりました。工事車両が行き交い、徐々に復興は進んでいるようですがまだまだといった感じを受けました。

最初の視察は大船渡魚市場の建設現場です。この魚市場は建設途中に被災し、平成 24 年 11 月より工事が再開されたそうです。地盤沈下等の被害を受けて、そこから解体復旧工事を合わせた工事を進めてきたという工事関係者の方の説明を聞き、大きな苦難を乗り越えてきた力強さと工事に対する熱意が伝わってきました。

それから陸前高田市に移動し、みんなの家と道の駅タピック 45 を見学しました。みんなの家は伊東豊雄氏を中心とした 4 名の建築家の設計で、津波の塩害で立ち枯れた丸太杉を柱に使用しており、地元住民やボランティアの方々が建設に参加し、今は地域の人たちの交流の場となっています。一方道の駅タピック 45 は震災当時のまま、建物も内部の瓦礫もそのまま、そこだけ時間が止まったようでした。被災地ガイドの方によるとこの建物は震災遺構として保存されるそうです。

また陸前高田駅前で、震災前の写真を見せていただきながら説明を聞きましたが、道路と空き地だけが広がる景

色に、かつてこの場所に建物が並んであったのが想像し難く改めて津波の威力と被害の大きさを実感しました。被災された方の言葉は重く、二度と同じ被害を繰り返さないよう震災の記憶を後世に伝えていくことは大切だと思いますし、現地に足を運び実際に見学することで防災に対する意識がさらに高まる一日となりました。



第 2 回学習会

秋田中央支部 伊藤 加久子



平成 26 年 2 月 15 日、25 年度の第 3 回学習会が秋田市のにぎわい交流館、その後の意見交換会はイタリアンのお店で開催されました。

学習会の前半は 9 月に行われる「東北ブロック女性委員会秋

田大会の準備委員からの経過報告がありました。大会の両日は秋田の《おもてなし》ぶりを会員が一丸とあって如何なく発揮したいものです。

後半は秋田県生活環境部の鈴木氏を講師に招いて「HACCP 方式による食品の管理方式」についての講義です。給食や食品製造施設での設計・建設の基本的な事はもちろん、家庭での衛生管理についても教えて頂き大変興味深い内容でした。

例年とは場所を替えて行ったので参加者が少ないのではないかと心配していましたが、30 名弱の会員が参加し盛会に終えることができました。意見交換会に参加して下さった講師の鈴木氏が「こんなパワフルな女性の会があることは秋田にとって素晴らしいことだ」と感嘆していたことを皆様にお伝えしたいと思います。

今回参加できなかった会員の皆様も次回はぜひパワフルにご参加くださいませ。



H25年度 秋田県建築士会女性委員会 活動内容 一覧

4月 第1回東北ブロック会女性委員会 (委員長)

6月 第1回幹事会 (10名)
平成25年度総会 (20名)
第1回学習会 (24名)
意見交換会 (15名)

住宅新築リフォーム講座 秋田会場

7月 H26東北ブロック女性委員会秋田大会準備委員会
第2回打合せ (7名)

住宅新築リフォーム講座 横手会場

全国女性建築士連絡協議会 東京 (2名)

住宅新築リフォーム講座 大館会場

8月 第2回学習会

親子体験学習「気持ちのいい家作ろう」 in 北秋田
(女性12・青年3・参加家族8組)
見学会「阿仁根子・棚田・安の滝・旧発電所」(9名)

9月 第2回東北ブロック会 岩手県南沿岸視察 (7名)

10月 第56回建築士会全国大会島根大会(9名)

H26東北ブロック女性委員会秋田大会準備委員会
第3回打合せ (7名)2月 第2回幹事会 (11名)
第3回学習会 (26名)
意見交換会 (20名)

その他 「秋田の住宅コンクール」審査員(委員長)

住宅改修・福祉用具相談員 派遣 (6名)
(公財)秋田県長寿社会振興財団

H25年度は役員改選の年

女性会員数 66名

H25・26年度女性委員会幹事 一覧

役職名	氏名	備考
委員長	戸嶋 真紀子	仙北
副委員長	伊藤 加久子	秋田中央委員長
	小松 奈美	仙北委員長
	安達 真由美	北秋委員長
幹事	松井 幹子	横手委員長
	佐藤 全子	雄勝委員長
	石木田 まり子	鹿角委員長
	阿部 功子	由利委員長
	藤嶋 秀美	北秋
	竹田 青子	秋田中央
	工藤 秀子	秋田中央
	佐藤 栄子	秋田中央
藤田 昌子	仙北	

新委員長のもと、新たなメンバーで幹事会の運営を行っています。今年度は親会である秋田県建築士会も一般社団法人へと変わり、建築士会全体が試行錯誤しながら新たな体制を作り始めています。女性委員会で始めた「親子体験学習」は会全体での事業となり、また、新たに「住宅講座プロジェクト」が立上り女性部・青年部を中心に活動をしています。『女性委員会だより』もどんな活動をしているのか、より解りやすくお伝えできるようにしていきたいと考えています。

今回、北秋支部の安達が編集を担当しました。こうして一年間を振り返ってみると、とても活発に活動しているのが良く解り今更ながら驚いています。

また、原稿の依頼に快く応じていただきありがとうございます。皆様のご協力で充実した紙面を作ることが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。

『女性委員会だより』
発行：平成26年4月
発行者：一般社団法人秋田県建築士会女性委員会